

「SO 駅伝」で 交流広がった

〓 会社員

(荒尾市)

私は昨年11月、「SO
デー ユニファイド駅
伝」という大会に参加し
た。聞き慣れない名称だ
が、知的障害のある人も

ない人も一緒に汗を流
し、交流することを目的
に開かれた。会場となっ
た熊本市のうまかな・よ
かなスタジアムは雲一つ
ない快晴に恵まれ、大会
は大勢の人たち、ランナ
ーで盛り上がった。

われわれ健常者4人の
中に、2人の知的障害者

の方が入られた。最初は
会話が少なかったもの
の、たすきを受け渡して
いくうちに、「頑張れ！
もう少し！ もうちょ
い！」と励まし合った。
たすきを渡して倒れ込む
知的障害者の方もおら
れ、まさに「助け合い」
のたすきリレーとなっ
た。チームがゴールする
と、健常者と知的障害者
の方々と手を取り合っ
て、健闘をたたえ合っし
んがあちこちで見られ
た。私たちもいつの間
に、彼ら彼女らと話が弾
み、まさに交流の場とな
った。

開催されたとのことだっ
たが、大盛況だった。私
たちメンバーも余韻にひ
たりながら、来年の再会
を誓い、会場を後にした。

この大会は、知的障害
者のスポーツを支援する
「スペシャルオリンピッ
ク(SO) 日本・熊本」
の設立20周年を記念して